

報道関係各位

2016年4月11日

地盤調査・杭打ち工事データ不正防止システムの利用を促進 ～ジオサイン株式会社と資本業務提携締結～

戸建住宅の地盤調査・地盤補強工事を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：斉藤 武司、以下、JHS）は2016年4月4日、地盤調査・杭打ち工事データ不正防止システムの利用を促進するため、住宅地盤第三者認証システムを手掛けるジオサイン株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：成田 芳文、以下、ジオサイン）と資本業務提携契約を締結しました。

ジオサインはサムシングホールディングス株式会社（所在地：東京都江東区、代表取締役社長：前 俊守）の連結子会社で、地盤調査・改良工事プロセスの透明性を向上させ、最終的な説明責任を可能にするという基本理念の実現に向け、2008年に設立されました。ジオサインの提供する住宅地盤第三者認証システム「G-Web システム」は、調査・施工機械が現場で計測したデータをスマートフォンに直接取り込み Web サーバに転送することで、ミスや不正を防ぎ、データの信頼性を確保できます。「G-Web システム」は特許を取得しています。



「G-Web システム」イメージ図

今回の資本提携締結により、JHS は自社で手掛ける物件において「G-Web システム」の利用を促進し、2020年までに地盤調査で100%、杭打ちなどの地盤補強工事では50%まで拡大することを目指します。住宅地盤業界の品質向上に向け、データの信頼性確保を求めのお施主様や建築事業者様の声に応えます。

ジャパンホームシールドは今後も、確かで信頼できる技術力を活かし、人々の豊かで快適な住生活の未来に貢献できるよう努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社（<http://www.j-shield.co.jp/>）

本社：東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F

報道関係の方から：広報マーケティング部 児新（コニイ） TEL. 03-5624-1545

※このリリースは、ジャパンホームシールド（URL: <http://www.j-shield.co.jp/>）のホームページで発表しています。
＜ジャパンホームシールドはLIXILグループの一員です＞

<参考資料>

■ ジオサイン株式会社について

会社名：ジオサイン株式会社

設立：2008年1月31日

代表者：成田 芳文

資本金：57,500,000円

事業内容：地盤調査および地盤改良の施工記録の認証業、認証システム、地盤調査機および地盤改良システムのレンタル業、中古地盤調査機および中古建設機械の買取ならびに販売
資本関係：ジオサインはサムシングホールディングスの連結子会社です。今回の資本提携により、ジオサインの資本金持株比率はサムシングホールディングス 51.6%、兼松日産農林株式会社 25.8%、JHS20.0%、オリックス株式会社 2.6%となります。

■ 「G-Web システム」について

ジオサインが提供する住宅地盤第三者認証システムです。地盤調査や杭打ちなどの地盤補強工事の位置データ・画像データ・調査データ・各施工データを Web 上にアップし、リアルタイムで「電子認証」を行い、不正な入力や改ざんを防止します。現場の実作業から作業報告までのトレーサビリティ（追跡可能性）を確立します。消費者に対し安全で信頼のおける市場を構築し、地盤調査・地盤補強工事の明確で正しい標準化を目指します。現場と事務所が Web 上でデータを共有できるため、現場への直行直帰が可能で、残業時間の短縮など現場の労働生産性向上にも貢献します。「G-Web システム」は特許を取得しています。



G-Web mobile：地盤調査機から出力される生データをスマートフォンの画面に表示し、現場ですぐにデータを確認することができます